

熊本県内経済情勢報告

令和 8 年 8 月

財務省九州財務局



九州財務局に関する情報はこちら！！



ホームページ



X(旧Twitter)



Facebook

(問い合わせ先)

財務省九州財務局経済調査課

TEL 096-353-6351 (代表)

ホームページアドレス

<https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、令和8年熊本地震前は、緩やかに回復していたが、現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある」

項 目	前回（8年4月判断）	今回（8年7月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復している	令和8年熊本地震前は、緩やかに回復していたが、現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある	—

（注）令和8年熊本地震による地域への影響全体について現時点では十分に把握できないため、前回との基調比較は行っていない。

（判断の要点）

令和8年熊本地震前は、個人消費は、緩やかに回復している。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。

現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある。

【各項目の判断】（注）8年7月の各項目の判断は、前回4月判断以降、令和8年熊本地震発生前までの期間で判断している。

項 目	前回（8年4月判断）	今回（8年7月判断）	前回比較
-----	------------	------------	------

個人消費	緩やかに回復している	緩やかに回復している	→
生産活動	持ち直している	持ち直している	→
雇用情勢	持ち直しの動きに一服感がみられる	緩やかに持ち直しつつある	↗

設備投資	7年度は減少見込み	8年度は増加見込み	↗
企業収益	7年度は減益見込み	8年度は増益見込み	↗
住宅建設	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→

【先行き】

先行きについては、令和8年熊本地震による地域への影響全体について十分に把握した上で判断する必要がある。

2. 各論 (注) 8 年 7 月の各項目の判断は、前回 4 月判断以降、令和 8 年熊本地震発生前までの期間で判断している。

■ 個人消費 「緩やかに回復している」

百貨店・スーパー販売は、緩やかに回復している。コンビニエンスストア販売は、緩やかに持ち直している。ドラッグストア販売は、緩やかに持ち直している。ホームセンター販売は、一進一退の状況にある。家電大型専門店販売は、持ち直しつつある。乗用車の新車販売は、持ち直している。宿泊は、緩やかに回復している。

(主なヒアリング結果)

- 食品売場は苦戦しているものの、催事は好調が続いている。足下では日傘や靴、バッグなど身の回り品が売れている。(百貨店・スーパー)
- 野菜は相場の落ち着きにより買上点数が伸びており、果物はキウイやスイカなどが売れていることから前年を上回っている。(百貨店・スーパー)
- 幅広い客層が来店し、売上高は前年を上回って推移している。周辺人口が増加していることもあって、客数は増加傾向が続いている。(大型商業施設)
- たばこ値上げの影響などから一時的に客数の減少がみられたものの、お得感を打ち出した販売促進策を実施することで客数の増加を図っている。(コンビニエンスストア)
- 中東情勢の先行き不透明感を受けた備蓄需要の高まりから、ごみ袋やラップなどの日用品の売上げが増加している。(ドラッグストア)
- 食料品は昨年の米価格高騰の反動減が続いているものの、洗剤や紙製品などの日用品、エアコンが売れている。(ホームセンター)
- エアコンについて、2027 年 4 月からの新たな省エネ基準適用前の比較的安価なモデルを中心に販売が好調であるほか、単価上昇によりスマートフォンが堅調に推移している。(家電大型専門店)
- 単価が高い車種も含めて受注は好調。今年は上期に受注再開の車種が集中していることもあり、4 月以降の受注台数が大幅に伸長している。(自動車販売店)
- 4 月は物価高の影響を受け、国内個人客の動きが鈍かったものの、5 月以降はインバウンドが好調に推移している。(宿泊業界団体)
- 7 月からの大型観光キャンペーンにより、国内客を中心に観光客数は前年を上回る見通し。(公的機関)
- 飲食店は、新店舗オープンの効果もあり好調に推移している。(大型商業施設)

■ 生産活動 「持ち直している」

汎用・生産用機械は、半導体製造装置を中心に増加している。食料品等は、横ばいの状況にある。電子部品・デバイス、化学は、横ばいの状況にある。

- AI 半導体の需要増加を見越した半導体メーカーの設備投資の増加や、メモリ不足に起因する新たな設備投資案件により、半導体製造装置の受注は好調に推移している。先行きは、生成 AI からフィジカル AI への進化の動きもあり、AI 半導体の一層の需要増加が見込まれていることから、更に受注が増加する見込み。(汎用・生産用機械)
- 夏向け季節商品について、需要の立ち上がりが例年より早く、在庫確保を目的とした前倒し生産を実施している。その他の商品を含めると、全体として例年並みの生産水準となっている。(食料品等)
- 民生向けはスマートメーターなどの海外需要が継続しているほか、車載向けの受注・生産も堅調に推移している。(電子部品・デバイス)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直しつつある」

有効求人倍率は、横ばいとなっている。新規求人数は、前年を下回っているものの、企業の人手不足感は、高い状況が続いている。

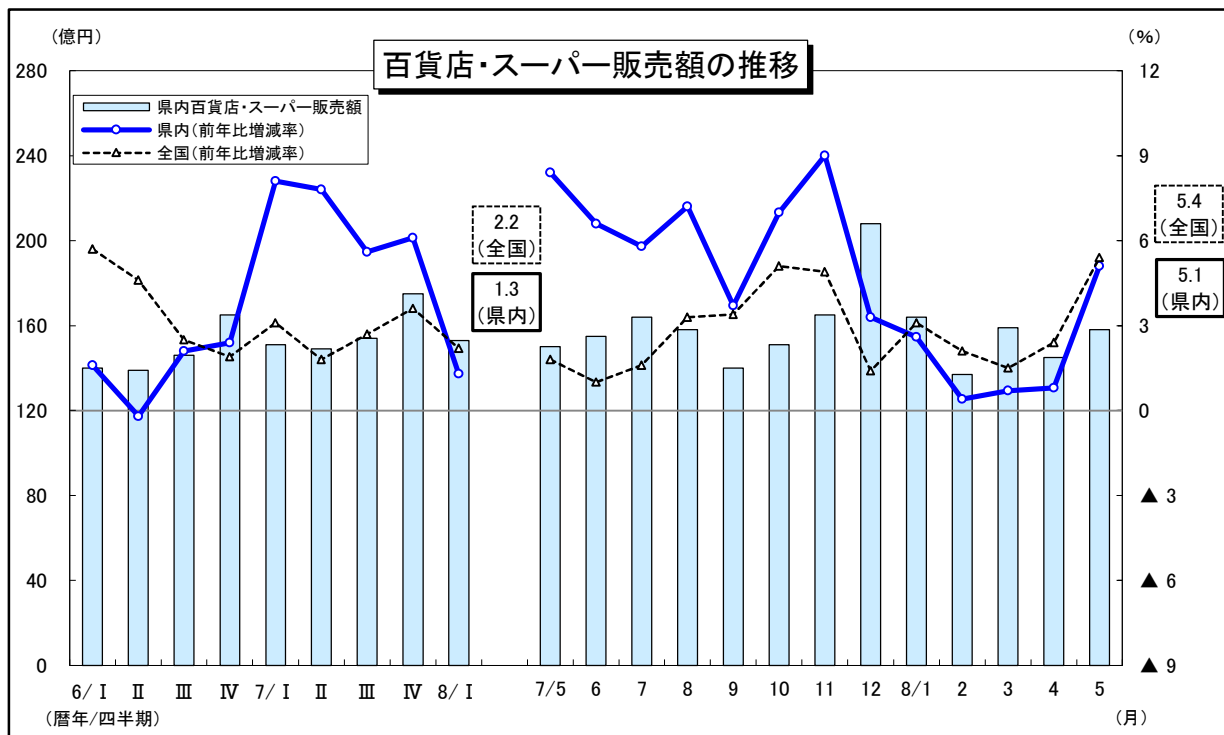
- 半導体製造装置関連企業の求人が増加していることが寄与して、有効求人数が増加している。なお、物価高の影響による高齢者を中心とした求職増の傾向は継続している。(公的機関)
- 半導体関連企業で採用活動が一斉に活発化しており、人材確保の面で厳しい状況が続いている。(自動車)
- ドライバー不足により求人を実施しているが、応募が少ない状況。同業他社も同様であり、不足時は協力体制で対応している。(陸運)
- 求人をしているものの、人が集まらないため、外国人技能実習生などを雇用している。(漁業)

- 設備投資 「8年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期
 - 製造業、非製造業ともに増加見込みとなっている。
- 企業収益 「8年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期
 - 製造業では増益見込み、非製造業では減益見込みとなっている。
- 住宅建設 「横ばいの状況にある」
 - 新設住宅着工戸数(8年3~5月)をみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を下回っている。
- 企業の景況感 「現状判断は『下降』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期
 - 8年4~6月期の景況判断BSIをみると、全産業では「下降」超となっている。
先行き(全産業)をみると、8年7~9月期は「下降」超の見通しとなっている。
- 公共事業
 - 公共工事請負金額(8年4~6月累計)をみると、前年度を下回っている。
- 倒産
 - 企業倒産(8年4~6月期)は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回っている。

【参 考 資 料】

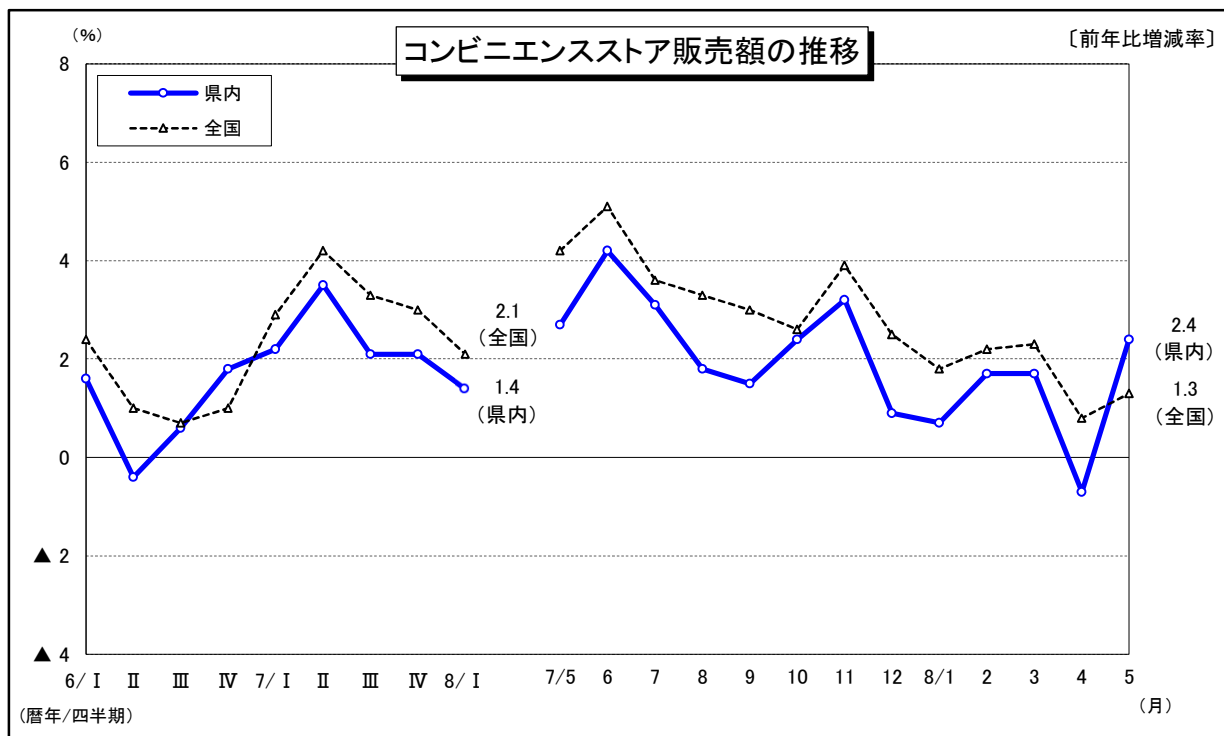
1. 個 人 消 費	参－1
2. 生 産 活 動	参－4
3. 雇 用 情 勢	参－5
4. 設 備 投 資	参－6
5. 企 業 収 益	参－6
6. 住 宅 建 設	参－7
7. 企 業 の 景 況 感	参－8
8. 公 共 事 業	参－9
9. 倒 産	参－10

1. 個人消費



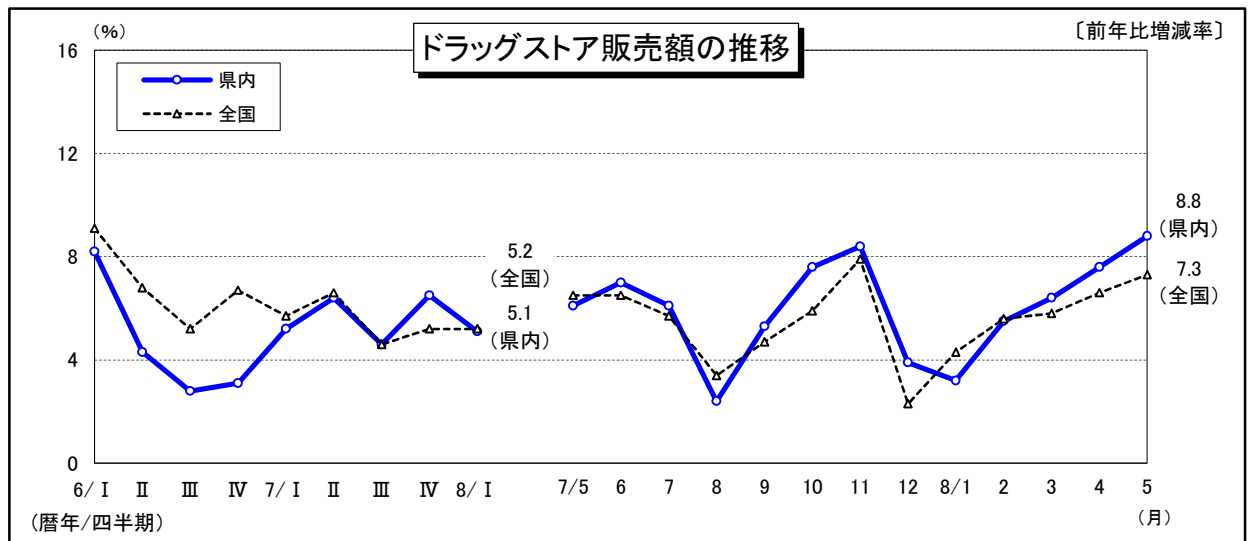
(注)全店ベース。四半期の棒グラフは月平均。

[資料:経済産業省]



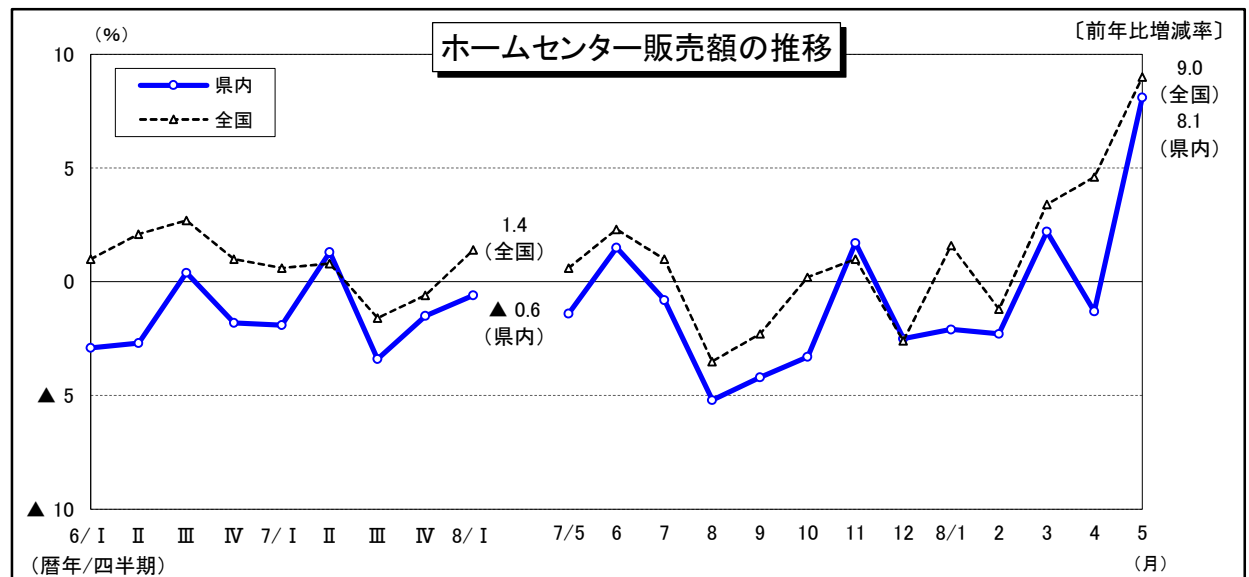
(注)全店ベース。

[資料:経済産業省]



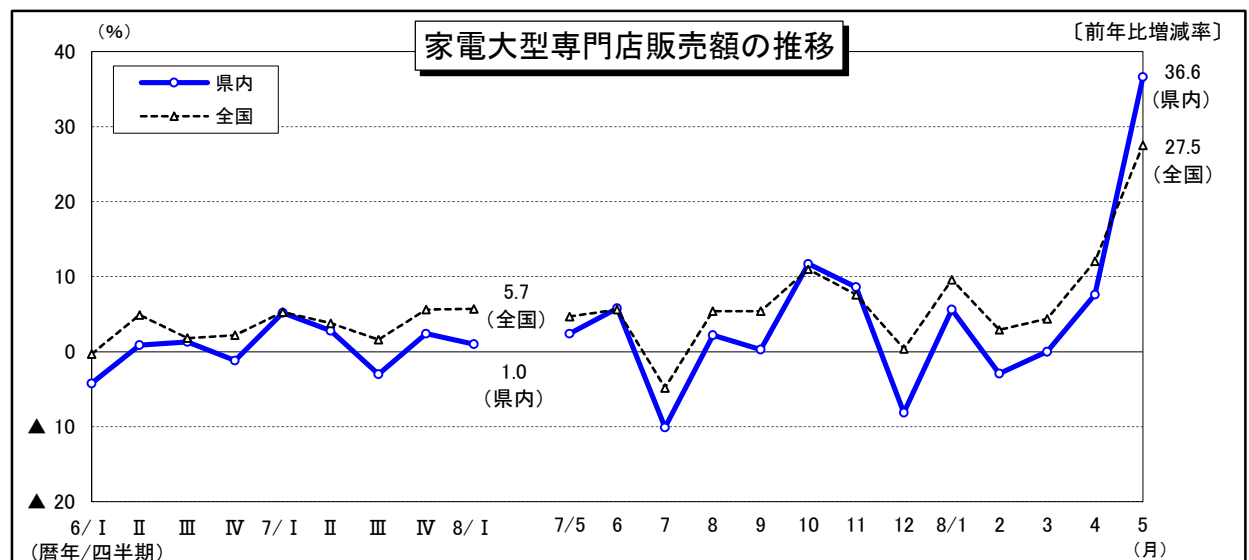
(注)全店ベース。

〔資料:経済産業省〕



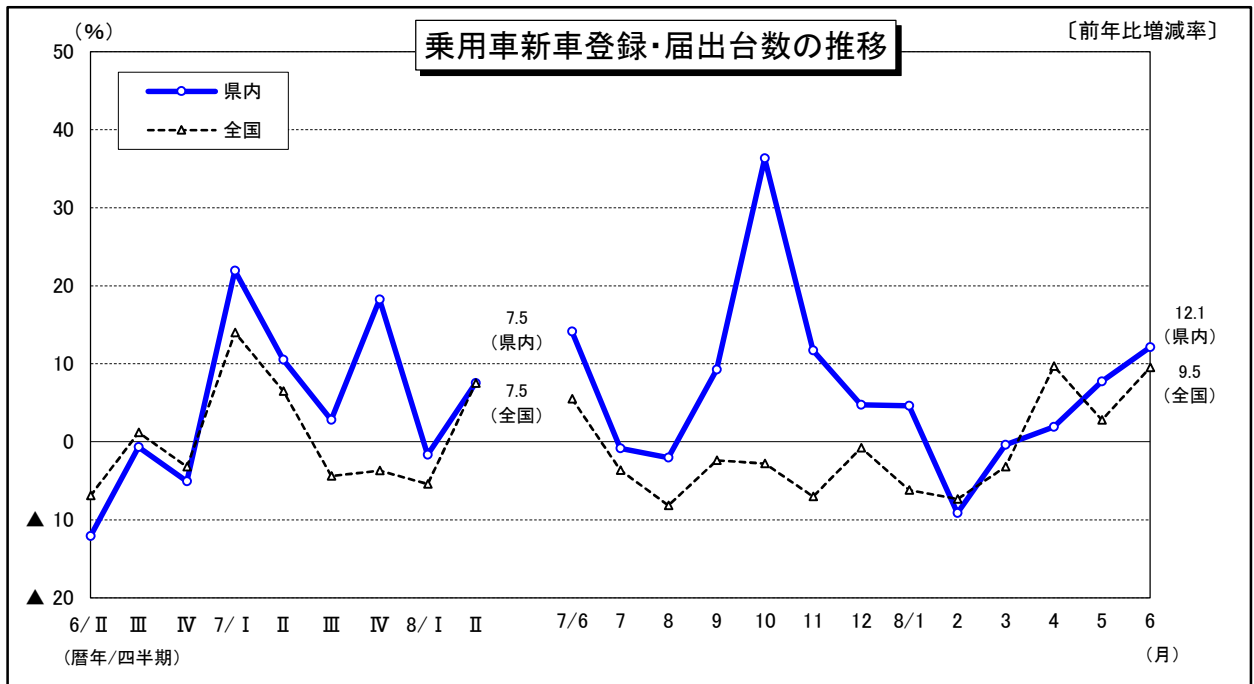
(注)全店ベース。

〔資料:経済産業省〕

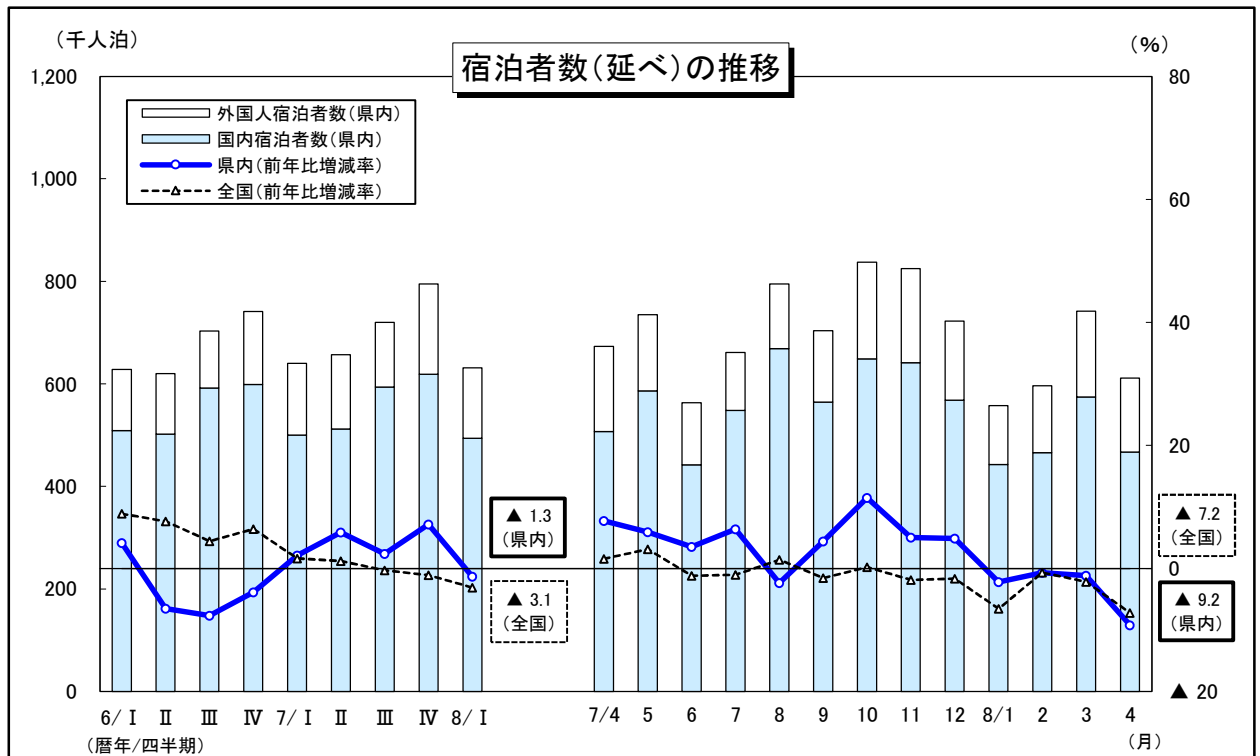


(注)全店ベース。

〔資料:経済産業省〕



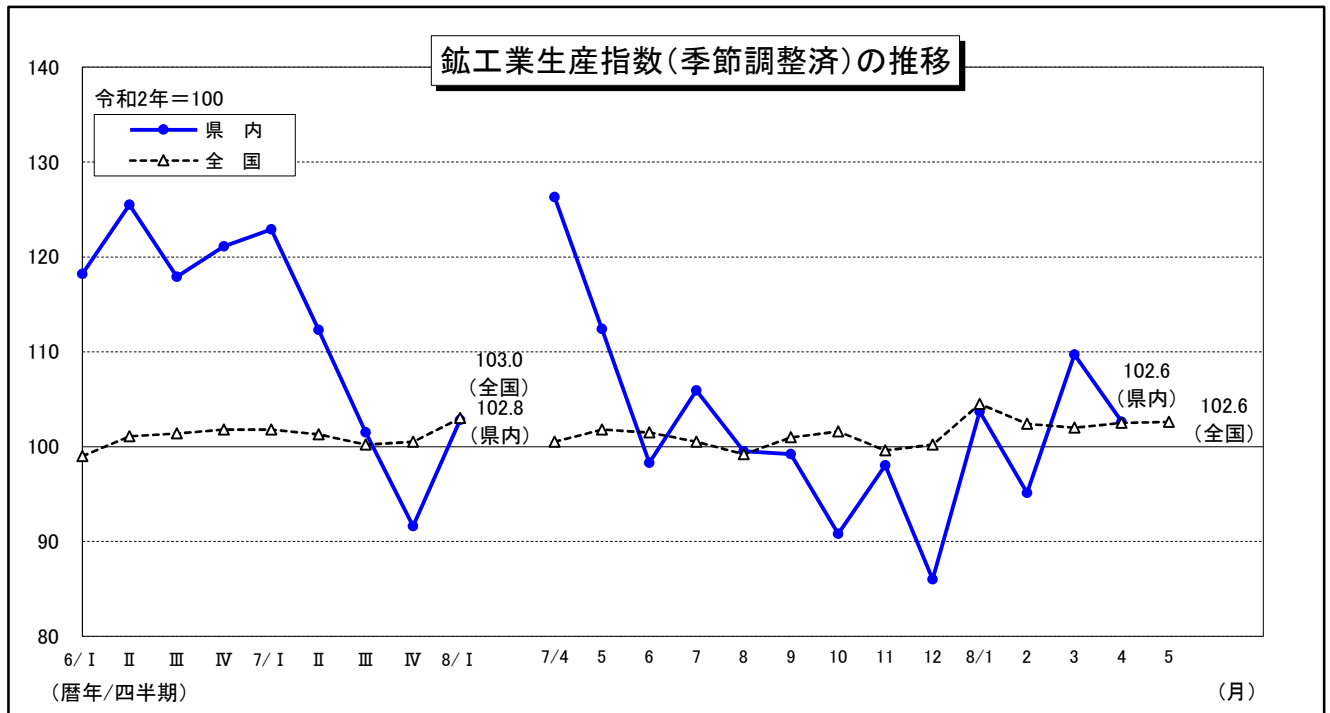
〔資料：日本自動車販売協会連合会、熊本運輸支局及び全国軽自動車協会連合会〕



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

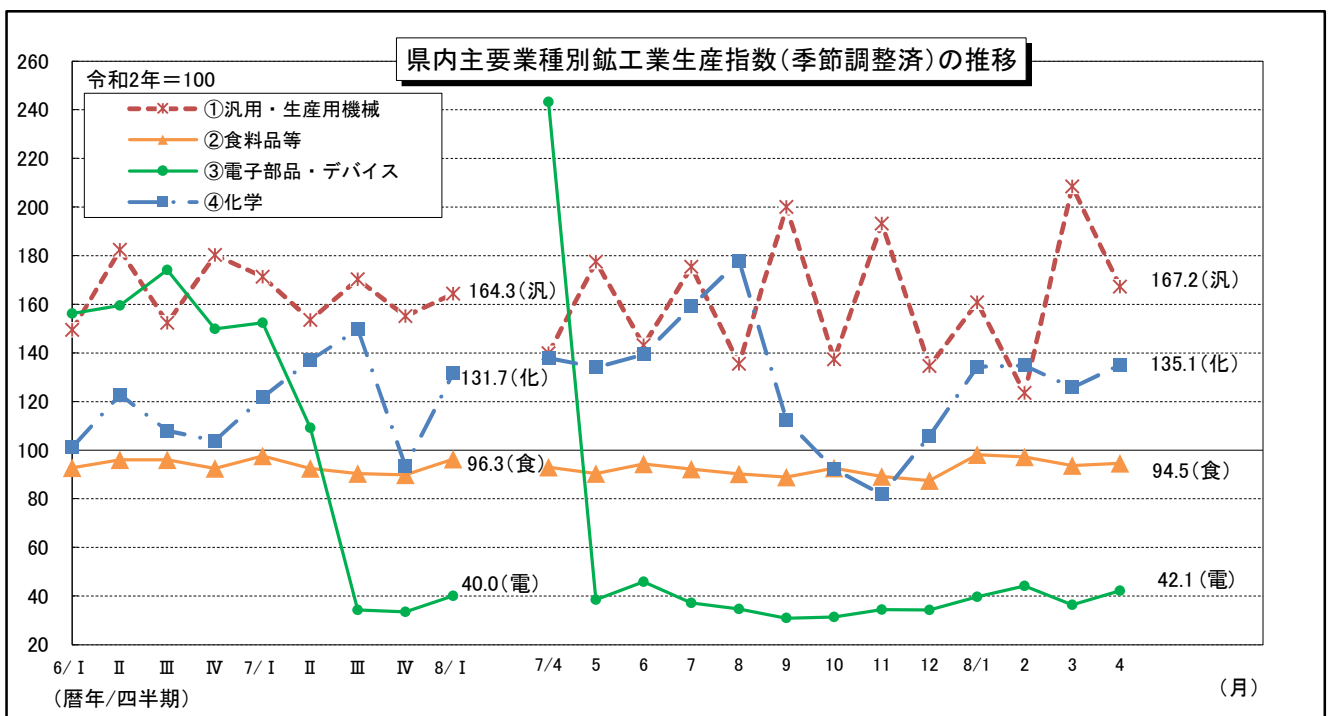
〔資料：観光庁〕

2. 生産活動



(注) 県内の8年4月は速報値。

[資料: 経済産業省、熊本県]



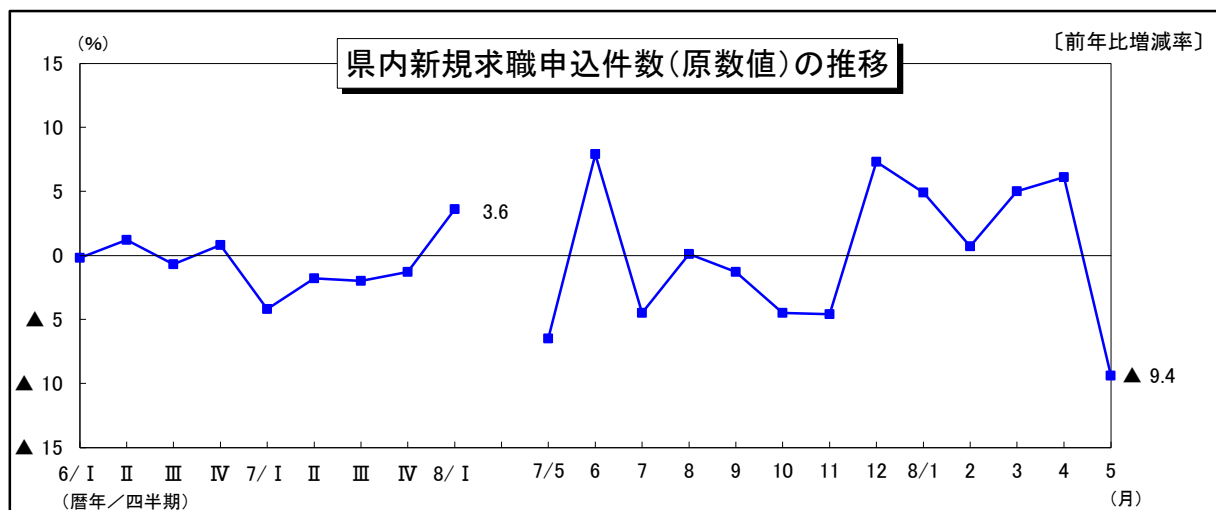
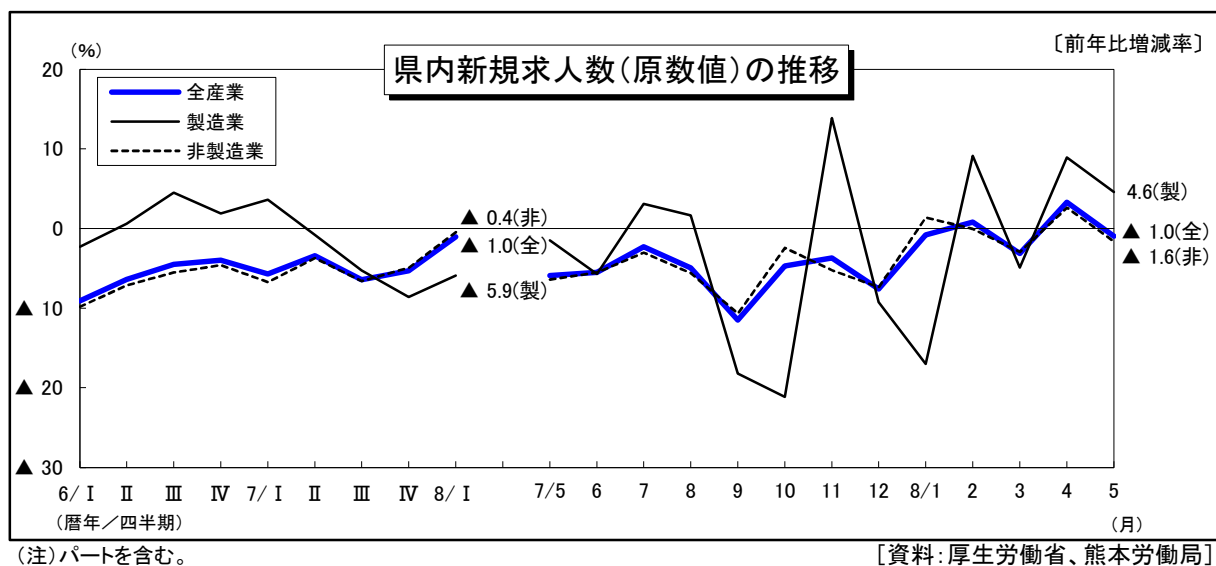
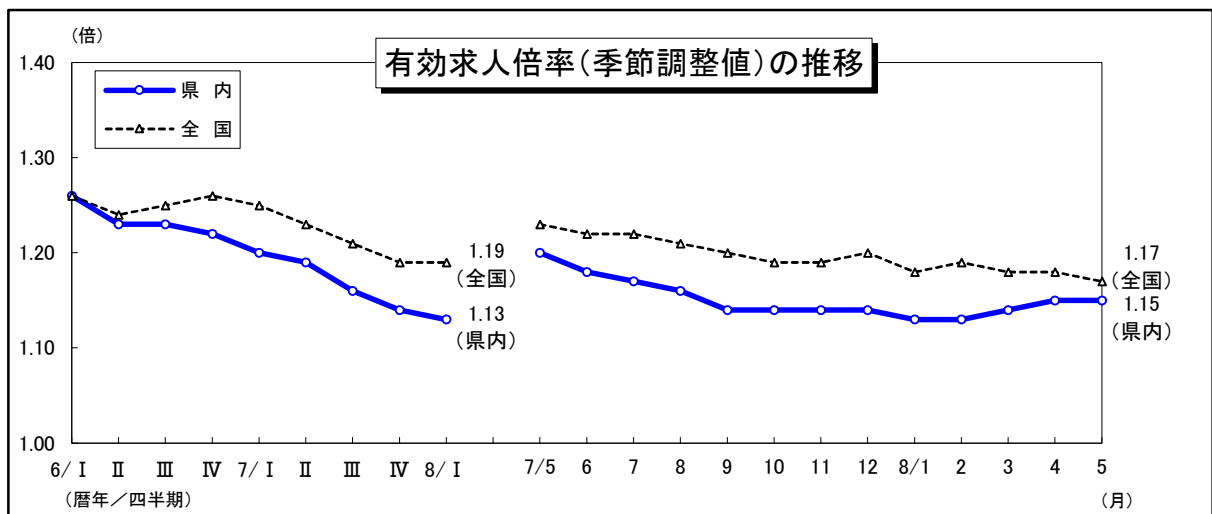
(注) 1. 8年4月は速報値。

2. ○数字は、県内におけるシェア順位。

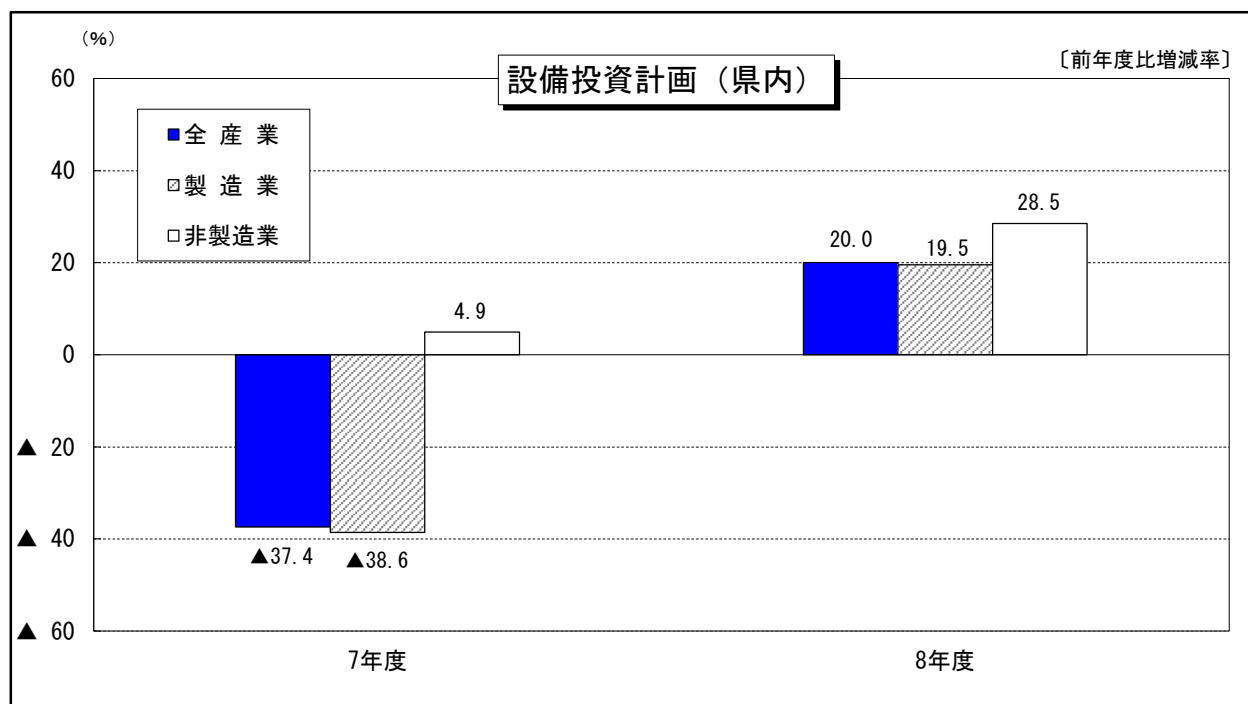
3. 電子部品・デバイスについては、7年5月より一部事業所の報告方法が変更されている。

[資料: 熊本県]

3. 雇用情勢

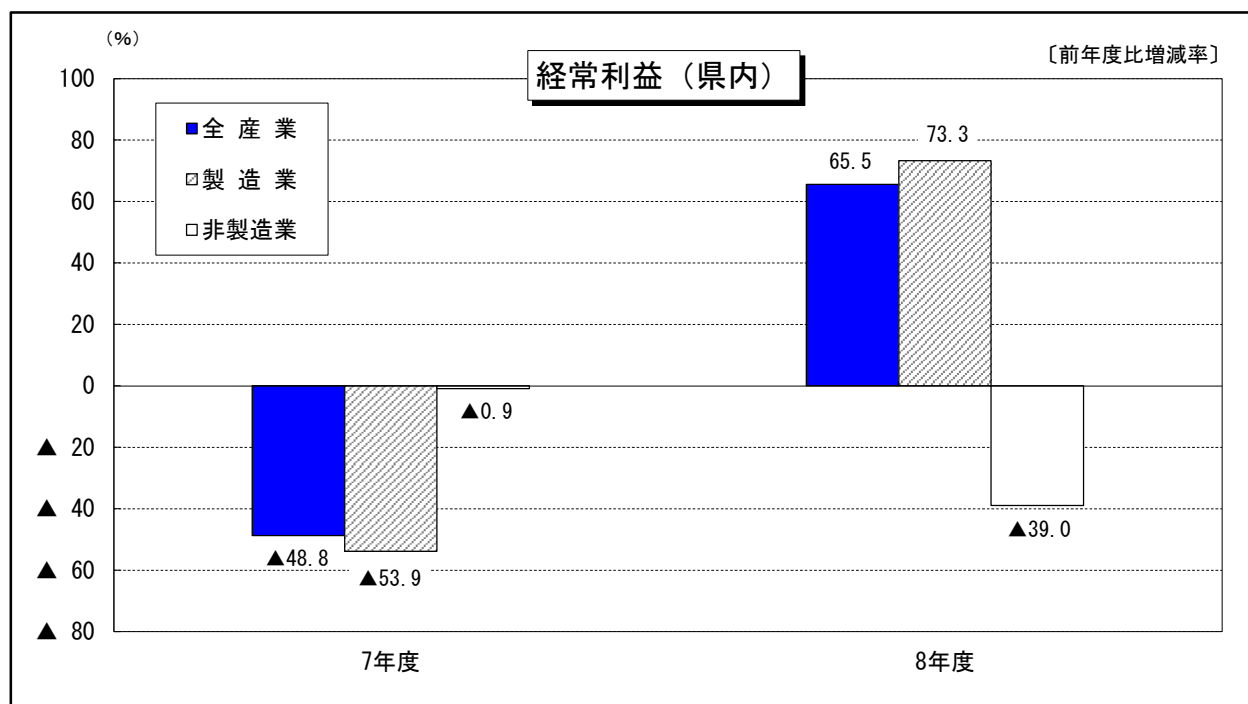


4. 設備投資



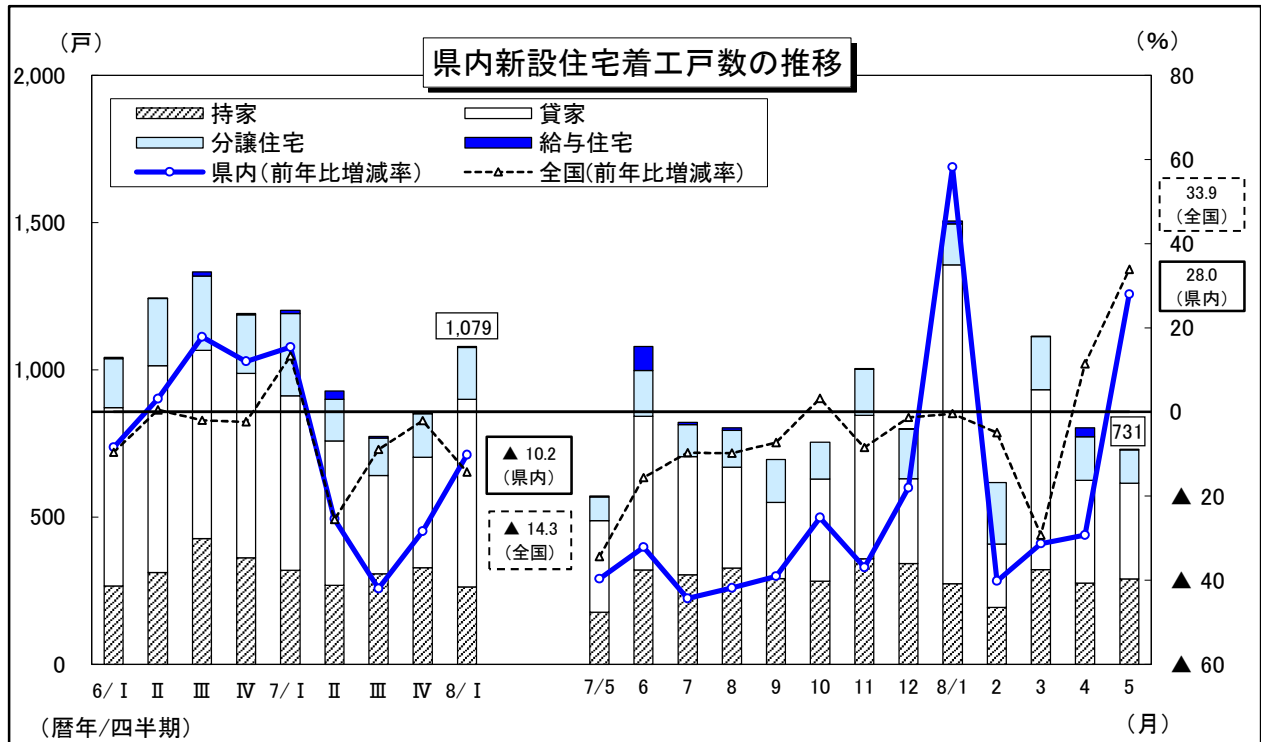
[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

5. 企業収益



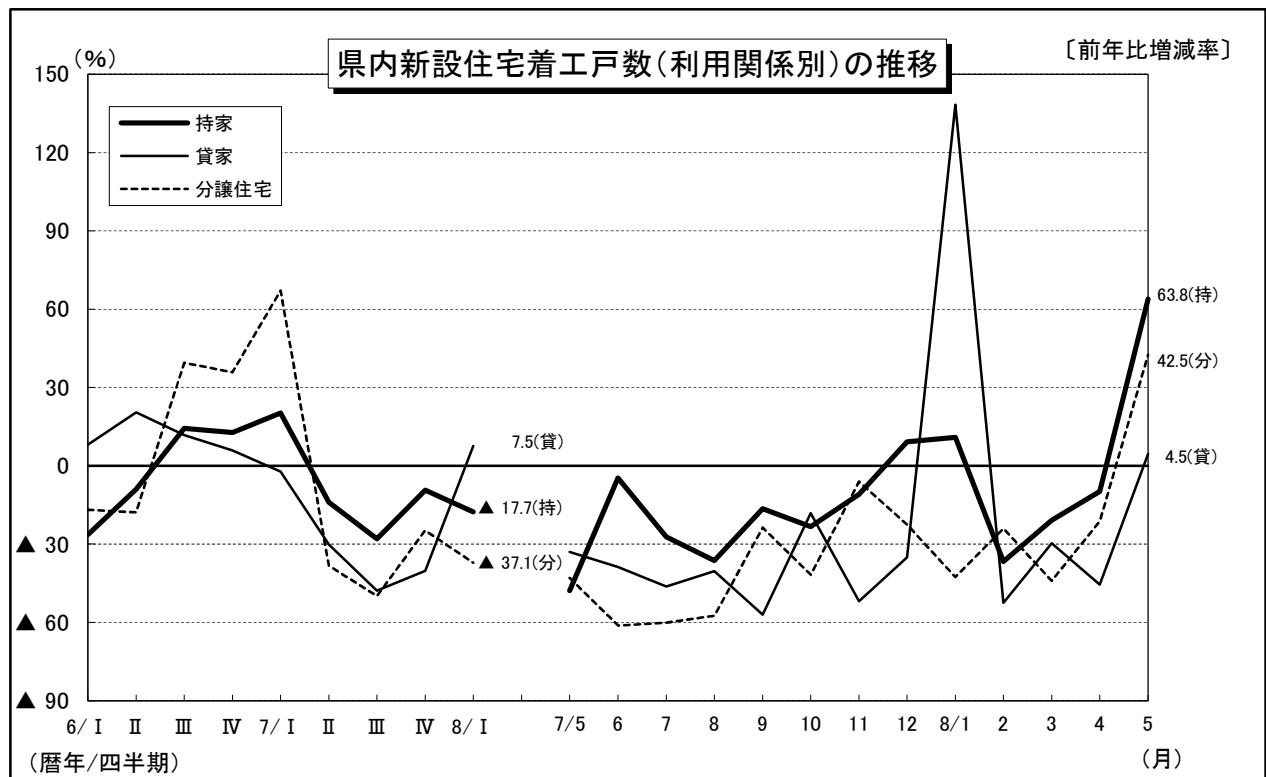
[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

6. 住宅建設



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

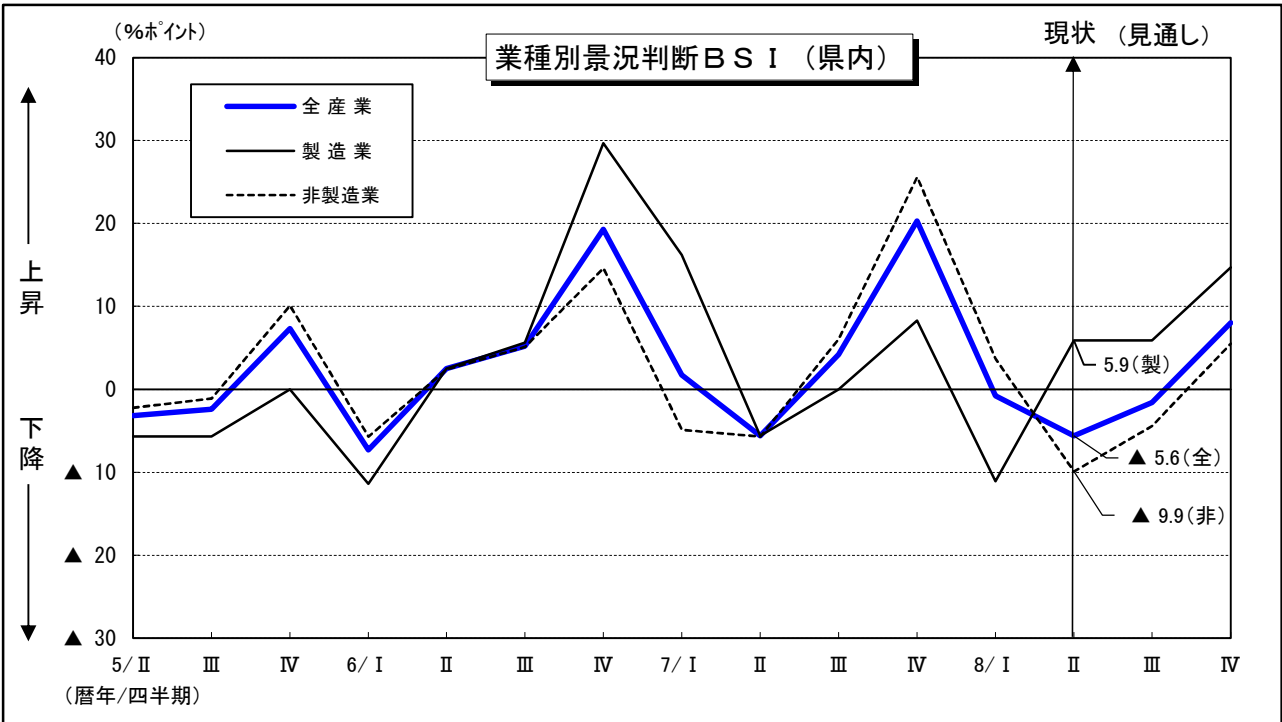
[資料: 国土交通省]



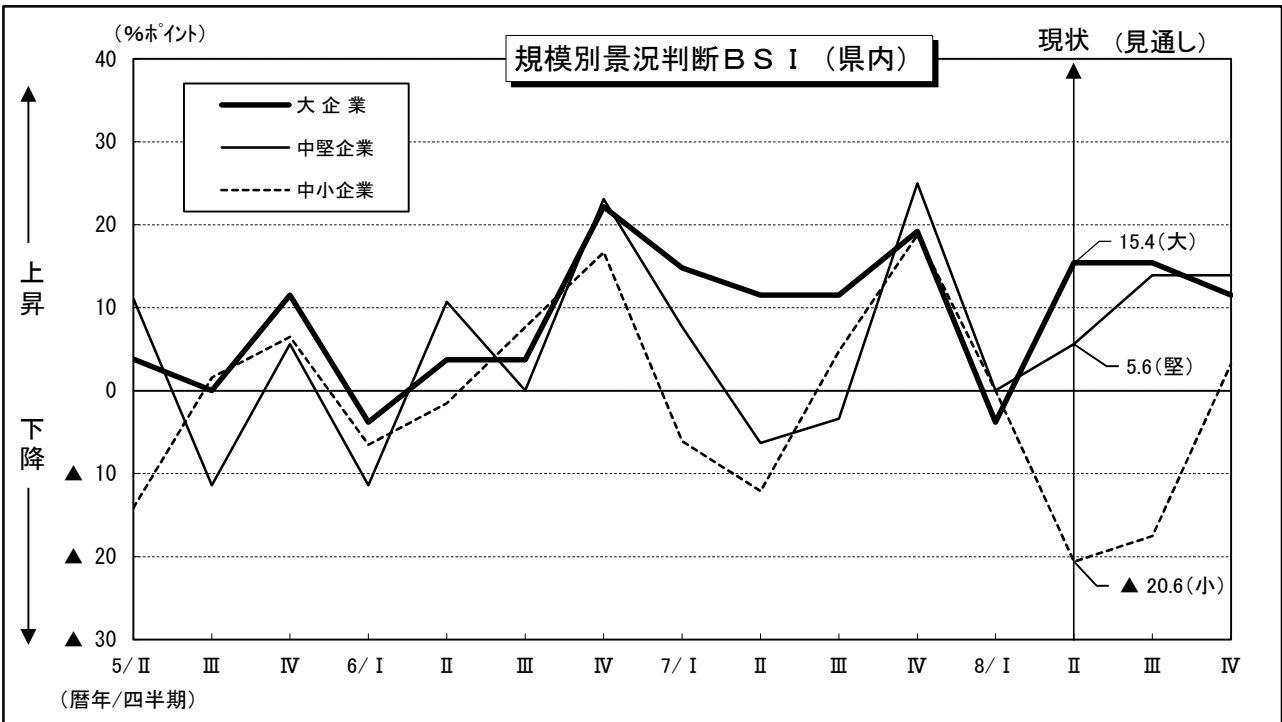
(注) 給与住宅については、些少であるため表記していない。

[資料: 国土交通省]

7. 企業の景況感

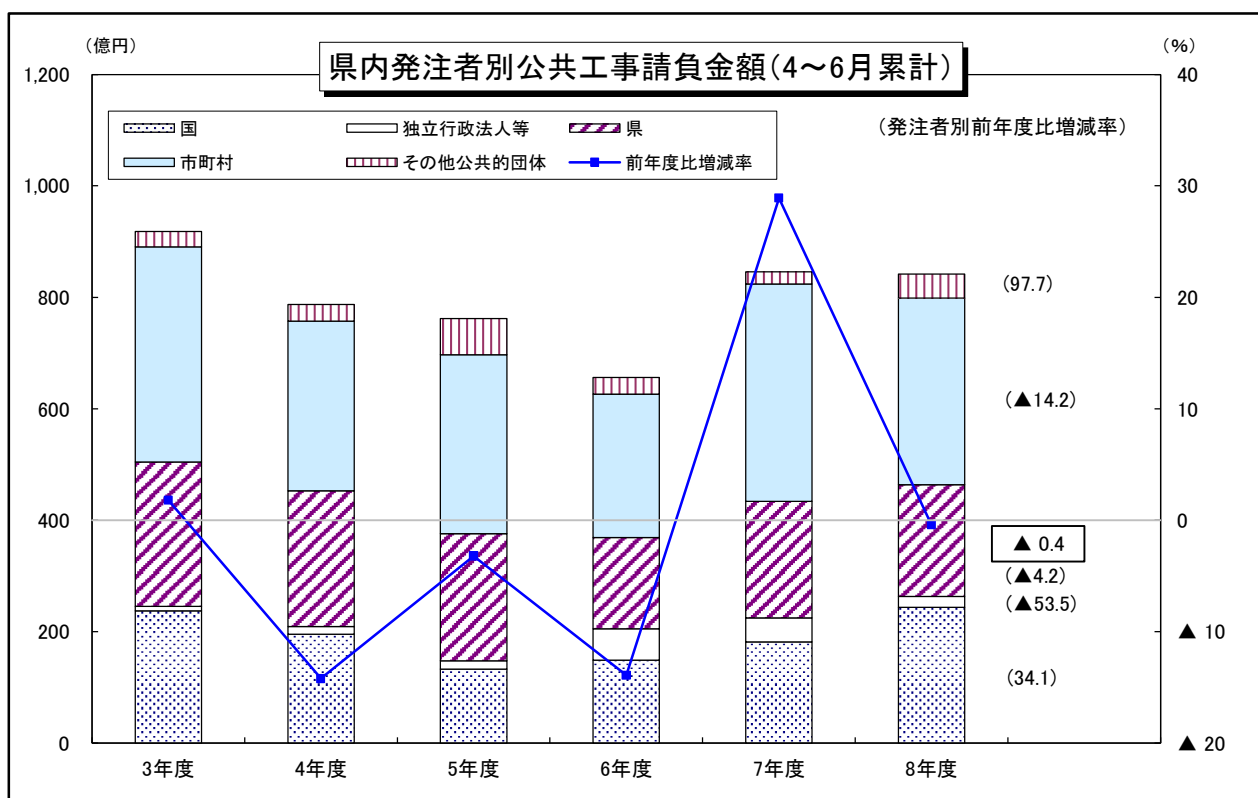


[資料：九州財務局(法人企業景気予測調査)]

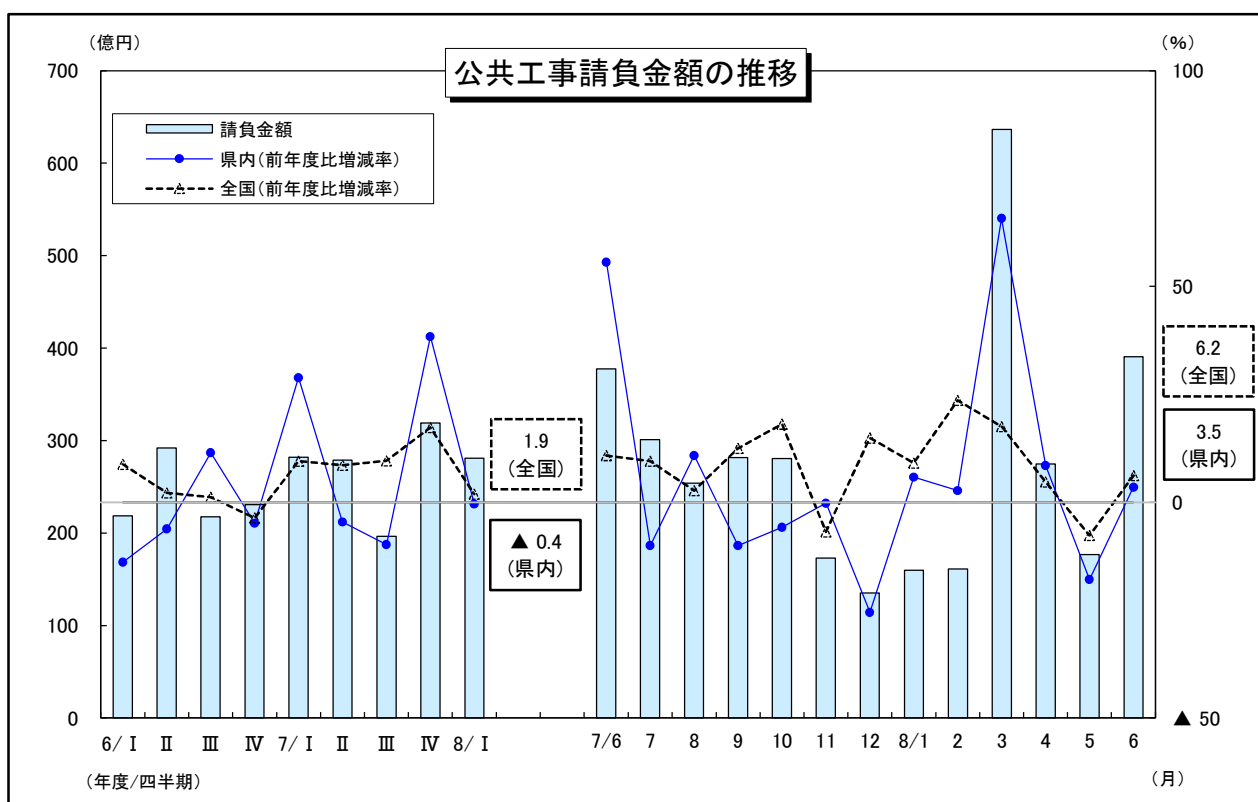


[資料：九州財務局(法人企業景気予測調査)]

8. 公共事業



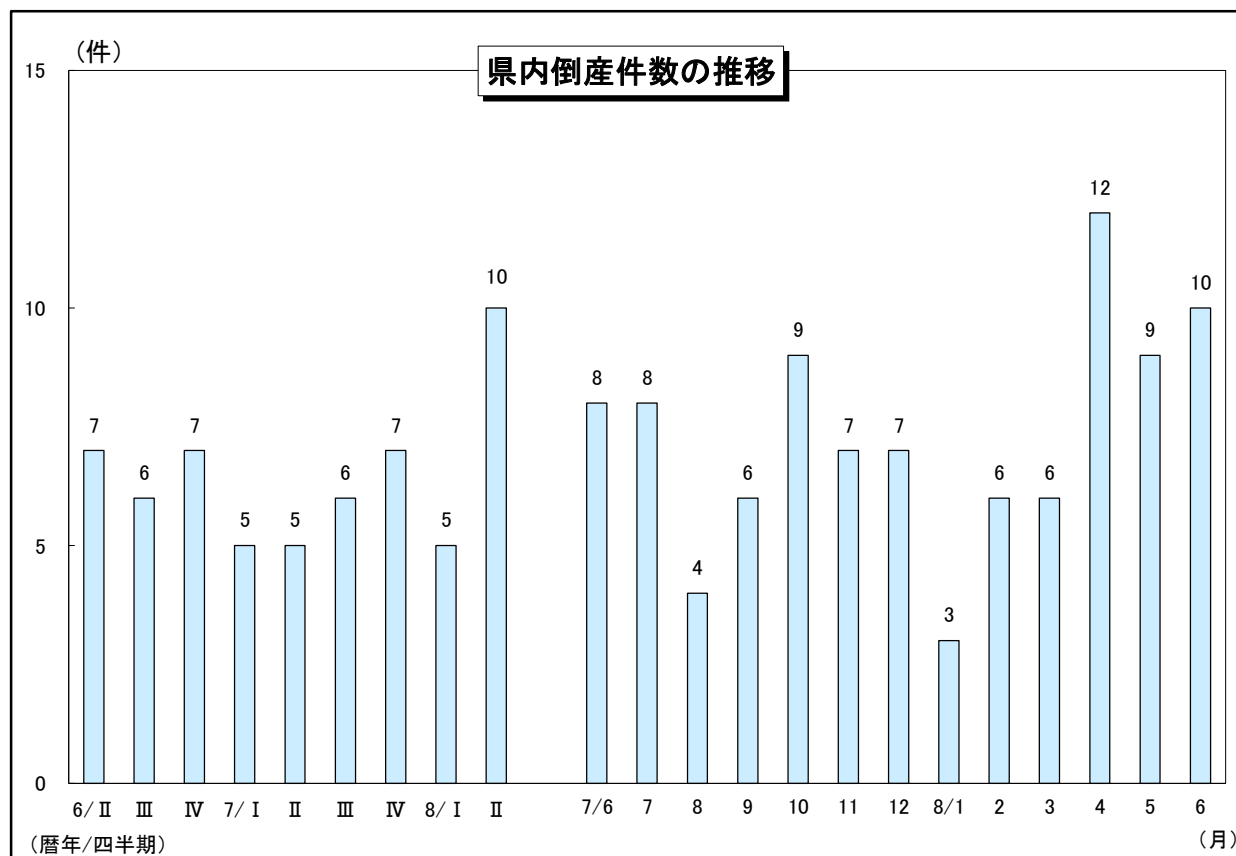
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]



(注)四半期の棒グラフは月平均。

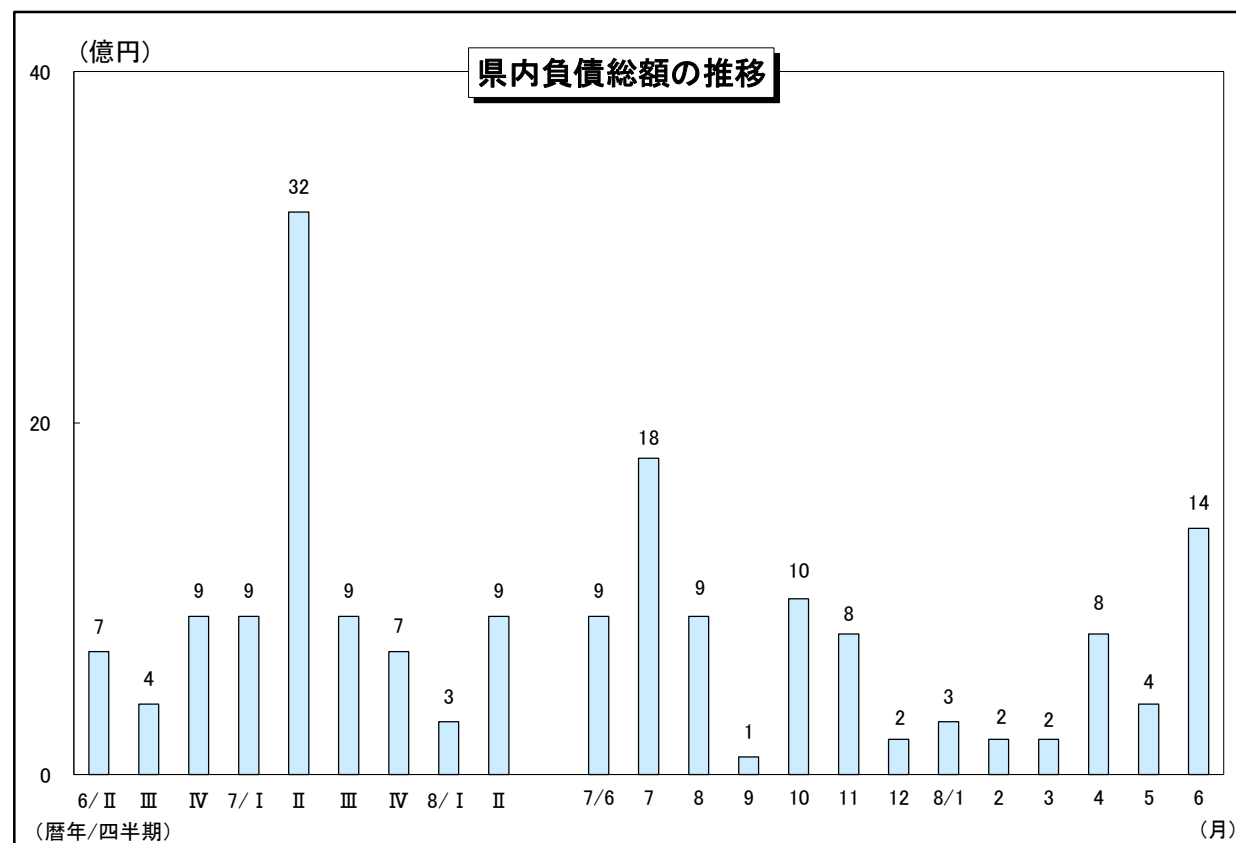
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]

9. 倒産



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 東京商工リサーチ]



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 東京商工リサーチ]